

# 新しくフィブロスキャンを導入しました。

フィブロスキャンとは肝臓の硬さを測定する装置です。

これまでは、肝臓の硬さを計る方法は肝生検が中心でしたが、この装置は体を傷つけることなく、体外から超音波を使用して硬さを計る方法です。

肝臓はウイルス感染や自己免疫性肝炎だけでなく、生活習慣病からアルコールの飲みすぎや肥満、糖尿病などによっても肝臓に炎症が起こり、肝線維化が進むと肝硬変になり、肝がんを併発する場合があります。

フィブロスキャンによって肝臓がどの程度硬くなっているか把握でき、さらに肝臓の脂肪も測定することができます。



## 検査方法

検査は超音波検査と同様に肋間にプローブを当て超音波（弾性波）を送ると肝臓の硬さと脂肪量が数値で表示されます。計測時間は3～5分程度で痛みもない検査です。

